

カーネギーメロン大学 金出武雄教授 講演会



情報科学研究科 IB 電子情報館大講義室

8月24日（金） 15：30～ （予定）

タイトル 「米国理系大学院の研究教育の実情と私の研究哲学」

（担当） 横井茂樹 shigeki.yokoi@gmail.com

主催 名古屋大学情報科学研究科

共催 IEEE 名古屋支部

講演内容の紹介

米国のハイレベルな大学院に所属され、世界的に活躍されている金出教授に、米国の理系大学院の研究・教育の実情についてお話頂きます。日本の大学院の有り方とはかなり異なる面もあると思われませんが、優れた研究・教育の成果を上げるためにはどのような方法が必要かについて理解を深めることは、今後の我が国の研究レベルを上げるのに重要であり、多くの示唆が得られると考えております。また、日本の研究者として世界をリードする研究を推進しておられる金出教授の研究推進の哲学をお聞きすることは、研究者以外の多くの人にとっても有益だと思えます。下に、金出教授の御著書を紹介しておりますが、他分野の方からも有益な書籍として評価されています。

金出教授経歴

京都大学大学院博士課程修了。工学博士。同大学情報工学科助手、助教授を経て、1980年米国カーネギーメロン大学にロボット工学研究所発足を機に招聘される。同大学ロボティクス研究所所長を92年から10年間務める。2001年に産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター設立、03年に同センター長、10年に産総研特別フェロー。最近ではロボット技術を生活の質 QOL の向上や医療福祉に利用する研究開発を推進。C&C 賞、ベンジャミンフランクリン財団バウアー賞、立石特別賞など国際的な賞を多数受賞。

カーネギーメロン大学にて、50人の Ph.D を育てた。

金出教授の著書『素人のように考え、玄人として実行する - 問題解決のメタ技術 (PHP 文庫)』

カーネギーメロン大学ロボット研究所を世界最大の研究所にした、人工知能、ロボット工学の世界的権威が教える知の技術。

著者は、アメリカ大陸自動運転横断ロボットや、スーパーボウルで使われたアイビジョン・システムなどの先進開発の中心的役割を果たした、今、もっともアメリカで注目される研究者である。

本書では、今まで誰も語ることのなかった新しい知の技術を鍛える方法を伝授する。

内容例を挙げると◎「メッセージのある研究をしろ」◎最後までやりきれば、失敗のパターンもわかる◎集中力とは、自分が問題そのものになること◎できるやつほど迷うもの◎「日本人にアイデアがない」というのは嘘である◎日本の学生は、明らかに問題解決の能力において劣っている。

著者の意図は明確である。本当に頭のよい人間は、複雑に考えるのではなく単純に直線的に解答を導き出すのだ、という。

慶應大学安西祐一郎塾長、羽生善治四冠推薦！ ビジネスマン、学生必読！